



4月は入園、入学、進級とお子さまたちの環境の変化もあるこの季節です。

喜び、期待、不安など様々な思いを持って過ごすであろう日々、お子さまたちが元気に過ごせることが私たちペンギんはうすのスタッフの願いでもあります。でも、体調を崩し、園や学校に通えない日には、保護者の皆様が安心してお仕事などに行けるよう、大切なお子さまをお預かりし体調に合わせてゆっくりと休息したり好きな遊びを楽しんだりお子さまも安心して過ごせるようにしたいと思います。



しんどい時は横になってゆっくり過ごすこともありますが、回復期にあるお子さんいろいろな遊びをして1日過ごしています。お絵描きに制作、ままごとやブロックなど好きな玩具で、また将棋やコマ回しなど、保育士も一緒に遊びを楽しみます。時にはお子さんたちが先生となって教えてくれることもありますよ。

嘔吐、下痢、発熱時には脱水予防に水分や食事の進め方が大事になってきます。

「少量ずつこまめにあげましょう」「塩分や糖分が必要です」と、前回のペンギんはうすだよりにも上げさせていただきました。

その上で、もう少し掘り下げてお伝えしたいと思います。

◆嘔吐された時って脱水を気にして水分を摂らせてませんか？

お腹の動きが悪い時に脱水予防と考えると、水分を与えると、嘔吐を繰り返してしまいます。この時は、小一時間くらい休養をとり、吐き気が治っていたら水分を一口ずつあげてみましょう。嘔吐をするのが不安で水分や食事を与えなさすぎると、お腹の動きがさらに悪くなるので注意です。

◆お茶やお水しか飲まないお子さんは？

ラムネや飴をなめさせてあげてください。



また甘いものが嫌いなお子さんは、ある程度水分が取れるようになったら、擦ったリンゴや赤ちゃんせんべい、小さな塩おにぎいやパンがゆ、スーフなどをあげてみてください。

◆低血糖に注意！！

長時間十分な食事が取れていないお子さんは低血糖に気をつけましょう。



元気がなく、ぐったりしているだけでなく、起きていても生あくびが多かったり、声をかけても起き上がれずすぐに眠ってしまうなどの症状がある場合は病院に相談しましょう。低血糖が原因で痙攣を起こす場合もあります。

◆お腹の痛みは嘔吐下痢の時だけではありません！

消化器症状でお腹の動きが悪いと腹痛を訴える場合がありますが、嘔吐をする場合は、便秘の時もあります。

普段の排便状況や便の性状も今一度確認してください。毎日排便があっても、コロコロのうんちや気張ってもなかなか

出にくかったり、お尻が切れて出血ほどの硬便の場合は便秘の可能性もあります。この場合は、病院で相談してくださいね。



いつもこの場所で

梶山小児科・アレルギー科の2階に開室して早3年。初めてご利用いただいた1歳に満たないお子さまももう3歳を迎えています。そうしたお子さまたちの成長と共に、皆様に育てていただいた「ペンギんはうす」です。皆様には感謝申し上げます。

「今日はペンギんさんいくの？やったー！」「ここがあって助かります」そんな嬉しい声も多く聞こえてくるようになった「ペンギんはうす」

梶山小児科・アレルギー科の2階には、病児保育室がある。お子さんがしんどくなった時にはあそこで過ごせるかな、そんな思いを持っていただけるよう、また必要な時にご利用いただけるように、病児保育室ペンギんはうすは、いつもこの場所であり続けたいと思います。



病児保育室 ペンギんはうす
〒657-0082 神戸市灘区細原通3丁目1-17
コージーネストアヤZA
TEL/FAX : 078-882-8608
<https://www.kajiyamakids.com/penguinhouse>